



米ブルーボトルコーヒー社 2019年、韓国に初出店

米ブルーボトルコーヒー社（本社：アメリカ・カリフォルニア、最高経営責任者：ブライアン・ミーハン）は、19年度第2四半期、韓国・ソウルの聖水（ソンス）に初出店することを発表しましたのでお知らせいたします。韓国は、2015年の日本進出に続く、ブルーボトルコーヒーが進出する世界で2番目の市場になります。

ブルーボトルコーヒーのブライアン・ミーハン最高経営責任者は、「私たちのカフェはこれまで、たくさんの韓国のお客さまに支えられてきました。この度、初のカフェを韓国にオープンできることを非常にうれしく思います。彼らにとってブルーボトルコーヒーは今後、“観光スポット”から“ライフスタイルの一部”へと進化することでしょう」とコメントしています。

韓国一号店は、“ソウルのブルックリン”としても知られる聖水洞（ソンスドン）に立地します。ブルーボトルコーヒーにとって馴染み深い、赤レンガ造りの建物が多いこのエリアは、もともと革靴・衣服の工場や倉庫が立ち並ぶ場所でした。近年は若いアーティストやデザイナーが古い建物を改修し、アートスペースなどに生まれ変わらせたため、ギャラリーやレストラン、クラフトビールのブルワリー、スタートアップの企業などが集結するエリアとして人気を集めています。ブルーボトルコーヒーは、新しいカルチャーを発信するハブとして機能するこの聖水洞（ソンスドン）の中でも、緑が広がる「ソウルの森」の近隣にロースタリーとトレーニングラボを併設したカフェをオープンし、フレッシュなコーヒーと手作りのペイストリーを提供してまいります。

ブルーボトルコーヒーの創業者ジェームス・フリーマンは、「韓国・ソウルにオープンできることを非常にうれしく、また光栄に思います。ブルーボトルコーヒーの既存店舗とは異なる魅力や発見、サプライズをお届けしますので、楽しみにしていただければと思います」と話しています。

（本プレスリリースは、日本時間の2018年11月7日に米ブルーボトルコーヒー社が発表したプレスリリースの抄訳です）

ABOUT BLUE BOTTLE COFFEE

ブルーボトルコーヒーは2002年に、創業者のジェームス・フリーマンによって、アメリカ・カリフォルニアで誕生しました。創業以来、デリシャスネス、ホスピタリティ、サステナビリティを信念に掲げながら、おいしさを徹底的に追求したコーヒーを提供してまいりました。また、自社のロースタリーから焙煎したてのコーヒーを配送可能な地域にのみカフェをオープンすることで、おいしさのピークに合わせてエイジングしたコーヒー豆の販売を行っています。現在は、サンフランシスコ、ニューヨーク、ロサンゼルス、ワシントン D.C.、マイアミ、ボストン、東京、京都、神戸で63店舗を展開しています（2018年11月7日現在）。

問い合わせ先：Blue Bottle Coffee Japan 合同会社 広報担当：河村 japan_press@bluebottlecoffee.com